

科目名	音楽基礎A4							年度	2025
英語科目名	Basic Theory of Music A4							学期	後期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 2年次	必/選	選	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	早川治		教員の実務経験	有	実務経験の職種	ミュージシャン、作編曲家、プロデューサー、ディレクター			
【科目の目的】 音楽理論をより深く理解し、実際の作曲、アレンジ、演奏などの実践的なスキルを向上させ、楽用語と記譜法を学び習得しながら、音楽の専門家としての能力を発展させていく。									
【科目の概要】 ミュージシャンとして必要なハーモニーとスケールの理論を学ぶ。									
【到達目標】 A. 長調でのセカンダリー・ドミナント・モーションと、短調でのセカンダリー・ドミナント・モーションがわかる。 B. より音楽を深く理解し、最終的に実際の作曲やアレンジや演奏にどう生かせるかを知る。 C. 長調でのセカンダリー・ドミナント・モーションと、短調でのセカンダリー・ドミナント・モーションの範囲に限定した楽用語と記譜法を学び習得する。									
【授業の注意点】 授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう					レベル1 要努力	
到達目標 A	長調でのセカンダリー・ドミナント・モーションと、短調でのセカンダリー・ドミナント・モーションがわかる		長調でのセカンダリー・ドミナント・モーションがわかる					到達目標Aについてさらなる努力が必要	
到達目標 B	より音楽を深く理解し、最終的に実際の作曲やアレンジや演奏にどう生かせるかを知る		楽曲を音楽理論を活用して分析できる					到達目標Bについてさらなる努力が必要	
到達目標 C	長調でのセカンダリー・ドミナント・モーションと、短調でのセカンダリー・ドミナント・モーションの範囲に限定した楽用語と記譜法を学び習得する		長調でのセカンダリー・ドミナント・モーションに限定した楽用語と記譜法を学び習得する					到達目標Cについてさらなる努力が必要	
【教科書】 決定版音楽理論ワークブックポピュラー音楽を完全理解□									
【参考資料】 必要に応じて、プリントを配布する									
【成績の評価方法・評価基準】 評価基準はルーブリック評価に基づき、授業内試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		音楽基礎A4			年度	2025
英語表記		Basic Theory of Music A4			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	ドミナント復習1	ドミナントの理解	1 セカンダリー復習	セカンダリーコード理解	3	
			2 ドミナント理解	ドミナント機能把握		
			3 進行分析	進行応用ができる		
2	ドミナント復習2	和音の基本を掴む	1 セカンダリー復習	ドミナント転調認識	3	
			2 ドミナント応用	実例分析能力		
			3 曲例分析	関連コード応用		
3	経過和音	経過和音の理論	1 経過和音理解	経過和音役割理解	3	
			2 和声役割把握	適切進行作成		
			3 実際適用	曲中応用ができる		
4	経過和音	ディミニッシュ活用	1 ディミニッシュ学習	ディミニッシュ理論理解	3	
			2 和声進行解析	和音進行分析		
			3 コード進行作成	作曲応用ができる		
5	和音の展開系	展開系の習得	1 ディミニッシュ応用	進行バリエーション認識	3	
			2 進行の展開学習	転調展開スキル		
			3 曲作り適用	実践作曲適用		
6	ディミニッシュ	スケールの活用	1 ディミニッシュ・スケール理解	スケール構成習得	3	
			2 即興演奏応用	即興演奏応用		
			3 作曲に活用	ディミニッシュ活用		
7	クリシェ	コード進行の応用	1 ハーモニック・クリシェ理解	クリシェ進行理解	3	
			2 独特な進行作成	創造的進行作成		
			3 応用演奏実践	応用即興能力		
8	変化・平行和音	コード進行の応用	1 変化和音学習	変化和音の理解	3	
			2 平行和音の理解	平行和音関係把握		
			3 応用和声分析	応用和声作成		
9	コードの変種	コード進行の応用	1 コードパターン学習	パターン習得ができる	3	
			2 パターンバリエーション	バリエーション応用		
			3 作曲技法適用	コード理解深化		
10	コードスケール論	チャーチモード	1 コードスケール理解	スケール使用習得	3	
			2 和声理論応用	和声理論応用		
			3 即興演奏の基礎	即興演奏の自在性		
11	コードトーン確認	テンション活用	1 コードトーン分析	コードトーン応用	3	
			2 個別コード習得	個別分析能力		
			3 トーン適用実践	演奏応用ができる		
12	テンション確認	テンション活用	1 テンション理解	テンション音認識	3	
			2 コード特性分析	コード色彩理解		
			3 即興の応用	テンション応用力		
13	アボイドノート	各種モードの理解	1 アボイドノート学習	アボイドノート選定	3	
			2 短9度の理解	短9度関係理解		
			3 適切な使用法	適切進行作成		
14	モード&スケール	各種モードの理解	1 チャーチ・モード学習	モード習得ができる	3	
			2 モード適用実践	モード応用スキル		
			3 和声学習応用	スケール深化理解		
15	まとめ	試験対策	1 総まとめレビュー	総理解達成	3	
			2 知識の統合	応用演奏能力		
			3 演奏能力向上	総復習応用力		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等